

平成 28 年度 第 1 回まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

○ 日 時

平成 28 年 7 月 4 日（月）午後 2 時 30 分～4 時 30 分

○ 会 場

諏訪市役所 第 1 委員会室

○ 出席者

<まち・ひと・しごと有識者会議委員>

柳澤慶子委員、中嶋博美委員、岩波寿亮委員、宮坂勝太委員、今井高志委員、藤沢晃委員、
林直樹委員、山崎三千代委員、佐久秀幸委員、金子ゆかり委員

<まち・ひと・しごと創生本部>

平林副市長、河西企画部長

<地方創生先行型交付金事業担当課>

大館商工課長、真道商業労政係長、下澤工業係長

前澤健康福祉課長、森健康予防係長、濱健康増進担当係長、久保田健康支援係長

河西教育総務課長、松木学務係長

茅野地域戦略・男女共同参画課長、細野地域支援係長

金子観光課長、片桐観光係長

<事務局>

前田企画政策課長、伊藤企画政策係長、牛山企画政策係主査、小松企画政策係主任

○ 会議概要

1 開会

(河西企画部長)

- ・昨年度は総合戦略策定にご協力いただきありがとうございました。
- ・会議開催に先立ち、会長である金子市長よりご挨拶申し上げたい。

2 市長挨拶

(金子市長)

- ・本日はお忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。平成 28 年度、初回のまち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・委員各位にご協力いただき、昨年 12 月に決定した諏訪市版総合戦略に基づき、平成 28 年度は様々な施策を展開している。総合戦略の特徴は KPI（重要業績評価指標）を設定し、施策の達成状況を目に見える形で示すことともに、外部有識者の皆さんから意見をいただき、総合戦略や事業の効果を検証することである。
- ・平成 27 年度は、国から交付された「地方創生先行型交付金」を活用して、様々な事業を

実施した。地方創生に対して効果があったかどうか、行政だけでなく、外部有識者の皆さんからもご意見をお伺いすることで、客観的な効果検証を行いたい。それぞれのお立場で忌憚のないご意見をいただきたい。よろしくお願ひしたい。

3 協議事項

(金子会長)

- ・協議事項に先立ち、定足数の確認について事務局よりお願ひしたい。

(事務局)

- ・有識者会議の委員数 15 名のうち、本日出席の委員は 10 名となり、半数以上の出席であることから定足数に達していることを報告する。

(1) 地方創生先行型交付金事業の効果検証について

(金子会長)

- ・それでは、「(1) 地方創生先行型交付金事業の効果検証について」、事務局より概要説明をお願ひしたい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺ひしたい。
(意見等なし)

(金子会長)

- ・それでは、地方創生先行型交付金事業の効果検証に移りたい。
- ・事前に担当課による事業効果検証結果をお送りし、各委員により効果検証を行っていただいた。本日、お手元に各委員による効果検証結果を取りまとめた資料を配布した。また、併せて事業に対する質問等をいただいている。

【参 考】

<事業効果>

- ①本事業は地方創生に非常に効果的であった
- ②本事業は地方創生に相当程度効果があった
- ③本事業は地方創生に効果があった
- ④本事業は地方創生に対して効果がなかった

<今後の方針>

- ①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
- ②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)
- ③特に見直しをせず事業を継続する
- ④継続的な事業実施を予定していたが中止した
- ⑤当初予定通り事業を中止した

(金子会長)

- ・「事業No.1 総合戦略策定事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の

取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

・質問、意見があれば伺いたい。

(意見等なし)

(金子会長)

・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.1 総合戦略策定事業 「事業効果」: ① 「今後の方針」: ③

(異議なしの声)

(金子会長)

・ありがとうございました。

(金子会長)

・「事業No.2 インターンシップ促進支援事業」から「事業No.5 生産設備投資促進事業」まで、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

・質問、意見があれば伺いたい。

(A委員)

・これらの事業は商工会議所を経由して企業に周知されているか。

(担当課)

・商工会議所の職員と一緒に景況調査を行う際、企業宛てに周知している。

(B委員)

・今回の効果検証を通じて補助事業があることを知った。制度の周知不足だったかもしれない。

(C委員)

・効果検証全般について。事前送付された担当課の効果検証結果に頼ってしまうため、主観的な検証はごくわずかな部分になってしまう。事業の全てが分かるわけではないので、KPIの達成状況に基づいて、事業効果を判断せざるを得ない。

(金子会長)

・事業効果だけでなく、今後の事業実施に参考となるような意見を伺いたいと思う。

(D委員)

・専門家ではないので判断することは難しい。KPIの達成状況など、行政から数字を示されると、それが結果となってしまふ。この事業はダメだったのではないかと、なかなか悪いコメントはしにくい。

(金子会長)

- ・なかなか意見が言いにくい面もあろうかと思う。自由に発言をいただきたい。
- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.2 インターンシップ促進支援事業	「事業効果」: ③	「今後の方針」: ①
事業No.3 雇用促進奨励補助事業	「事業効果」: ③	「今後の方針」: ③
事業No.4 工場等立地促進助成事業	「事業効果」: ①	「今後の方針」: ①
事業No.5 生産設備投資促進事業	「事業効果」: ②	「今後の方針」: ③

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

(金子会長)

- ・「事業No.6 買物マップ作成事業」から「事業No.8 空店舗活用補助事業」、「事業No.17 諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(C委員)

- ・「事業No.6 買物マップ作成事業」について、周辺住民はすでに店舗の有無を知っている。例えば、配達をしてくれるかどうかを示してはどうか。

(E委員)

- ・買物マップは字が大きく、高齢者にとって見やすい。観光などにも利用してはどうか。
- ・駐車場の有無を示してもらえるとより便利になると思う。

(金子会長)

- ・KPI は買物マップの配布数ではなく、店舗への問合せ件数などを指標にすべきだったように思う。

(F委員)

- ・「事業No.7 推薦みやげ品 PR 事業」について、パンフレットはとても見やすいものができている。諏訪市に観光客が来たときに、「これが諏訪のお土産だ」と見せられるものがあればと思う。

(G委員)

- ・パンフレットは現地で見えるもの。事前にインターネットなどでお土産を探さと思うので、ホームページなどのメディアをうまく活用してほしい。

(H委員)

- ・「事業No.7 推薦みやげ品 PR 事業」の事業効果の判断理由を伺いたい。

(担当課)

- ・土産品推薦条例がある自治体は県内でも少なく、平成 27 年度には証票デザインを改めた。

- ・パンフレットやホームページなどにより、新しい土産品を周知することはできたが、実際に土産品が売れることが最終目標であると考え、KPI の達成状況は高いが、事業効果としては③の評価とした。

(金子会長)

- ・KPI の設定の仕方など、今後の検討としたい。

(C委員)

- ・農産物は推薦土産品とはならないのか。

(担当課)

- ・市内において製造される加工食品であることが条件となるため、農産物そのものは推薦土産品とはならない。

(G委員)

- ・KPI を新しく追加するということはあるか。土産品の売上げを KPI とするべきではないか。

(事務局)

- ・地方創生先行型交付金事業の効果検証は今回の会議において終了する。総合戦略の進捗管理を行う中で、今回の効果検証結果を活用して、総合戦略に掲載された KPI の修正や追加、取組内容の見直しをすることになる。

(A委員)

- ・地方創生先行型交付金事業は、全て国の交付金によるものなのか。

(事務局)

- ・平成 27 年度については、全て国の交付金を充当している。

(担当課)

- ・商工課の事業については、一般財源で予定していた事業を地方創生先行型交付金に振り替えたものである。
- ・「事業No.17 諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業」については、平成 28 年度は地方創生加速化交付金の対象となっている。

(金子会長)

- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.6 買物マップ作成事業	「事業効果」：③	「今後の方針」：⑤
事業No.7 推薦みやげ品 PR 事業	「事業効果」：③	「今後の方針」：①
事業No.8 空店舗活用補助事業	「事業効果」：③	「今後の方針」：③
事業No.17 諏訪圏 6 市町村による SUWA ブランド創造事業	「事業効果」：①	「今後の方針」：③

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

(金子会長)

- ・「事業No.9 20歳のヘルスアップ事業」から「事業No.11 諏訪市医師会附属准看護学院補助事業」、「事業No.14 父親向け子育て支援事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(E委員)

- ・「事業No.9 20歳のヘルスアップ事業」について、20歳という年齢ではあまり健康づくりに対する意識が向かないのでは。20歳は進学などで諏訪市から離れている人も多いと思うので、もう少し若い人に向けて周知することが必要であり、効果的ではないか。

(D委員)

- ・「事業No.10 20歳からの歯科健康診査事業」について、子どもの歯について母親はかなり神経を使っている。もっと若く、例えば小学校高学年など、年齢を下げた実施することはできないか。

(担当課)

- ・学校では年2回の歯科健診と必要に応じて歯科指導を実施している。今回の事業は学校などで歯科健診を受ける機会がなくなる世代を対象としている。

(I委員)

- ・「事業No.9 20歳のヘルスアップ事業」、「事業No.10 20歳からの歯科健康診査事業」について、ともにワーク・ライフ・バランスの観点から企業と協力して実施してはどうか。
- ・生活と仕事のバランスにおいて、自らの生活に重点を置いたとき、健康づくりは重要な課題となる。長時間労働の削減などは、メンタルヘルスや体の健康にも関連してくる。
- ・企業で働く若い世代に周知してもらうことで、ワーク・ライフ・バランスと健康づくりを一緒に進めることができれば良いと思う。

(担当課)

- ・平成27年度に策定した「諏訪市健康づくり計画」において、心の健康についても位置付けている。企業との連携は今後の取組となる。

(G委員)

- ・「今後の方針」と予算額について。「事業No.10 20歳からの歯科健康診査事業」は「今後の方針」を「③：特に見直しをせず事業を継続する」としているが、平成28年度予算は増加しているが。

(事務局)

- ・平成27年度については決算額、平成28年度については予算額となる。平成27年度も予算ベースでは平成28年度とほぼ同額である。

(I委員)

- ・「事業No.11 諏訪市医師会附属准看護学院補助事業」について、准看護学校の学生への奨学金制度をぜひつくってほしい。大学進学を目指す高校生と、家庭の経済状況により就職せざるを得ない高校生の差が明確になってきている。奨学金制度があれば、こうした子ども

たちも准看護師を目指すことができるのでは。

(事務局)

- ・ご指摘のとおり、大学、高校生には奨学金制度はあるが、准看護学校の学生には制度はない。今後の参考とさせていただきたい。

(F委員)

- ・「事業No.14 父親向け子育て支援事業」について、女性は妊娠しているときから母親としての意識を持てるが、男性は子供が産まれてからでないと父親としての意識をなかなか持てない。講座などを通じた意識付けを今後もお願いしたい。

(I委員)

- ・男性は努力しないと父親にはなれない。努力を母親が認めなくてはならない。講座では夫婦二人で参加することに意味がある。
- ・「イクメン手帳」を利用して父親向け子育て講座を実施してはどうか。ただ配布するだけでは勿体ないと思う。

(担当課)

- ・「イクメン手帳」は妊娠届出時に交付しているのみ。講座では別資料を用いて開催している。

(G委員)

- ・父親向け子育て講座をもっと広めてほしいと思う。参加人数 143 人のうち 73 人が父親とのことだが、残りは母親になるのか。

(担当課)

- ・先ほどの意見にもあったように、夫婦で参加することに意味がある。母親のサポートなども含めた講座内容となっている。

(D委員)

- ・ほとんどの女性にとって、夫と一緒に子育てをすることが結婚の条件になっていると思う。「どこの家庭もそうだから」ということではなく、出産や子育て、仕事については夫婦 2 人で話し合っ決めていくべきことだと思う。
- ・企業にとって事業展開や人材確保は重要な課題である。父親の子育て参加を否定するつもりはないが、社員全員が子育てを第一にしてしまえば、企業にとっては大きな負担になると思う。

(I委員)

- ・父親が子育てをしろという話ではない。自然増を目指すためには、産まれる仕組みよりも育てる仕組みを整えることが必要であり、私たちの意識の問題であると思う。働きたい人が働ける、子育てしたい人が子育てするという選択肢を持てること、多様性があるということが重要である。

(金子会長)

- ・この課題については様々な意見があろうかと思う。
- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.9 20歳のヘルスアップ事業	「事業効果」：④	「今後の方針」：②
事業No.10 20歳からの歯科健康診査事業	「事業効果」：③	「今後の方針」：③
事業No.11 諏訪市医師会准看護学院補助事業	「事業効果」：②	「今後の方針」：③
事業No.14 父親向け子育て支援事業	「事業効果」：②	「今後の方針」：③

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

(金子会長)

- ・「事業No.12 特別支援教育支援員配置事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(B委員)

- ・事業としては素晴らしく、非常に重要であると思うが、地方創生にどのように関わってくるのか。

(事務局)

- ・地方創生の位置付けとしては、安心して諏訪市に住んでもらうために、障がいなどがあっても安心して教育を受けることができる環境整備を行うことで、諏訪市の魅力の一つとしていきたいと考えている。

(金子会長)

- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.12 特別支援教育支援員配置事業	「事業効果」：③	「今後の方針」：①
-----------------------	----------	-----------

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

(金子会長)

- ・「事業No.13 縁結びサポート事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。

(D委員)

- ・私の会社でも婚活イベントを行っているが、やはり女性の参加が少ない。女性の結婚に対する意識の高さと、男性のコミュニケーション能力の低さにかかなりのギャップがある。
- ・地域のおせっかいおばさんがいなくなり、なかなか結婚に向けた話が進まなくなっている。12組のマッチングがあっても、結婚支援を行う専属の人がいなければ成婚率は上がらないと思う。

(担当課)

- ・平成 28 年度は、婚活イベントだけでなく、地域ぐるみで結婚支援の輪を広げるため、婚活応援講演会を開催する。講演会を通じて、結婚支援を行う団体も発掘したい。

(金子会長)

- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.13 縁結びサポート事業 「事業効果」：③ 「今後の方針」：②

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

(金子会長)

- ・「事業No.15 DMO 設立を視野に入れたビーナスラインを基軸とした広域観光事業」、「事業No.16 外国人観光客を主なターゲットとする信州シルクロードを核とした広域観光連携事業」について、事務局より事前質問に対する回答、効果検証の取りまとめ結果について説明したい。

(事務局)

※資料に基づき説明

(金子会長)

- ・質問、意見があれば伺いたい。
- ・平成 28 年度は地方創生加速化交付金により、「御柱祭の知名度活用による諏訪エリアの長期滞在型観光創生事業」を実施している。なお、6 市町村で DMO については調整をしていく予定である。

(金子会長)

- ・有識者会議として、以下の結果としたいがよろしいか。

事業No.15 DMO 設立を視野に入れたビーナスラインを基軸とした広域観光事業

「事業効果」：③ 「今後の方針」：③

事業No.16 外国人観光客を主なターゲットとする

信州シルクロードを核とした広域観光連携事業

「事業効果」：③ 「今後の方針」：③

(異議なしの声)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。

- ・様々な意見やコメントをいただくことができた。今後の事業展開の参考とさせていただきたい。

4 その他

(河西企画部長)

- ・その他連絡事項について、事務局より報告したい。

(事務局)

- ・平成 28 年度は地方創生加速化交付金を活用し、諏訪市単独で「SUWA クリエイティブシティ化戦略事業」、諏訪 6 市町村と連携して「御柱祭の知名度活用による諏訪エリアの長期滞在型観光創生事業」、「移住交流推進事業」などを実施している。
- ・平成 28 年度内に、「諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた数値目標、KPI などの検証を行い、必要に応じて改訂を行う予定である。有識者会議委員の皆さんにはご協力をお願いしたい。

5 閉会

(藤沢副会長)

- ・長時間にわたりお疲れ様でした。
- ・各委員においては、事前に効果検証にあたりかなりの時間をかけていただいたと思うが、ぜひ皆さんと地方創生に向けて力を尽くしていきたいと思う。